

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	自治会・町内会支援事業	所管	市民経済部 コミュニティ推進課
			Tel 2998-9083

事業の目的 (何の為に 行うか)	自治会・町内会に市、公共団体・機関の情報を提供するとともに、各種様々な要望・課題等に対応しながら、自治会・町内会により住みよい豊かなまちづくりの創造及び地域住民のよりよい生活環境の進展を図る。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市内全自治会・町内会	対象とした数	280	団体
		実際に 利用した数	5	件

活動の内容	(何を したか)	<p>内容1 ①相談・要望等を受けると、相談カードに内容・対応等を記入する。 ②必要に応じて、他課との連絡・調整、相談者との継続的に話し合いを行い、地域の問題解決発展へと導く。</p> <p>内容2 ①「自治会・町内会の便利帳」を毎年作成する。 ②自治連総会時に配布するとともに、市民及び自治会・町内会員に窓口配布する。 ③自治会・町内会と関係のある業務についての問い合わせは、便利帳を参考にしながら対応する。</p>							
活動実績	項目名	自治会等に関する 相談	5 ----- 単位 件	項目名	自治会・町内会の 便利帳配布	1000 ----- 単位 冊	項目名	自治会・町内会の 便利帳配布	1300 ----- 単位 件

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	0	0	3,288	9.7

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	相談対応率	相談対応件数/相談件数	15 ----- 単位 件	5 ----- 単位 件	33.3 ----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 []				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課コード 030100 TEL 2998-9083
事業コード 030113	自治会・町内会支援事業	
開始年度 昭和 55 年度 → 終了年度 平成 年度		部課 市民経済部 コミュニティ推進課
		グループ 自治組織支援

②事業の概要	事業の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令	
	分野別計画・指針		
	関連・類似事業		
	総合計画の体系	政策 第7章 人々がふれあう温かいまち	施策 1節 地域コミュニティ
		中柱 2 地域コミュニティ活動の支援	小柱 (1)自治会・町内会活動の支援
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 7 位		・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ		
	コード 1211	コード 1231	コード
	事業開始の背景 人と人のつながりが希薄になる中で、地域のコミュニティの形成の中心となる自治会・町内会に、市及び公共機関の情報を提供するとともに、地域の方が安全で安心して暮らせる生活環境の進展を図る。		

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的) 自治会・町内会に市、公共団体・機関の情報を提供するとともに、各種様々な要望・課題等に対応しながら、自治会・町内会により住みよい豊かなまちづくりの創造及び地域住民のよりよい生活環境の進展を図る。 対象(誰を、何を対象としているのか)	利用数の考え方 自治会等に関する相談件数
	市内全自治会・町内会	
	対象数 単位	平成 18 年度 282 団体 平成 19 年度 280 団体
		利用数 単位 平成 18 年度 13 件 平成 19 年度 5 件
	事業の具体的な内容及び実施方法 内容1 ①相談・要望等を受けると、相談カードに内容・対応等を記入する。 ②必要に応じて、他課との連絡・調整、相談者との継続的に話し合いを行い、地域の問題解決発展へと導く。 内容2 ①「自治会・町内会の便利帳」を毎年作成する。 ②自治連総会時に配布するとともに、市民及び自治会・町内会員に窓口配布する。 ③自治会・町内会と関係のある業務についての問い合わせは、便利帳を参考にしながら対応する。	

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>
	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 => (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 []) <input type="checkbox"/> 終了 => (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)
	予算 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了
	平成19年度中に改善した点 地域コミュニティの形成が希薄化する中で、引き続き、市民課及び出張所で転入者等へ自治会・町内会加入促進パンフレットを配布するとともに、マンション等の完了検査時にも加入促進パンフレットを配布した。

⑤経費	《会計種別》 一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		0	0
	決算 (見込み含む)			
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人)	(人) (人)	
	正規職員人件費	0.52 人 4,784	0.35 人 3,288	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	公債費			
	事業費合計	4,784	3,288	
	財源内訳			
	一般財源	4,784	3,288	0
	国・県支出金			
	受益者負担金			
	市債			
	その他			
	市民一人当たり(単位:円)	14.2	9.7	
	利用数一単位あたり(単位:円)	368,000.0	657,580.0	

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	自治会等に関する相談	相談件数	件	13	5	5
		自治会・町内会の便利帳配布	配布冊数	冊	1,000	1,000	1,000
		自治会・町内会の便利帳配布	ホームページ閲覧件数	件	1,200	1,300	1,800
成果分析	相談対応率	相談対応件数/相談件数	目標値	15	15	15	
			実績	13	5	突精値の拡大を図る1	
			% 達成率	86.7	33.3	突精値の縮小を図る2	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input checked="" type="checkbox"/> 対象を拡大する <input type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	見直しの必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		受益者負担の有無		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
明らかとなった課題	都市化の進展と、人間関係の希薄化が進む中、市民の地域社会へのかかわり方も多様化している。そのため自治会・町内会へ加入する世帯も年々減少傾向とともに役員の出任が困難な自治会・町内会がある。	達成水準(どこまで)	自治会・町内会等に加入している世帯数は、平成19年度末で68.6%であり年々減少傾向にある。この加入率を1%引き上げる。	時期(いつまで)	平成21年3月
平成20年度における目標設定	自治会・町内会等の無い地域への設立及び加入促進のために、自治会・町内会加入促進パンフレットや自治会・町内会便利帳を利用し、自治会・町内会の役割や必要性を周知する	今年目標項目(何を)			
平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 => (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 []) <input type="checkbox"/> 終了 => (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)				
評価理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	安全で安心して暮らせるまちづくりに自治会・町内会は必要である。特に未設立の地域が無くなるように地域へ働きかける				
	評価日	平成20年5月13日	記入者職氏名	コミュニティ推進課長 本田静香	

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性	
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了	
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了	
	評価理由		
⑨個別計画における方向性	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	優先度評価
		非常に高い 高い やや低い 低い	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
		見込まれる貢献度	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
		市長マニフェスト	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	評価理由		
	評価日		

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	423
	施策の体系	4-2参加と協働の推進	施策の方向	4-2-3地域コミュニティの活性化
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	1261
	基本目標	子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします		
	主要課題	2ホームタウンとしての家庭・地域づくり		
	施策の方向	6地域での交流機会の拡大		